

平成 17 年 5 月 26 日

## 平成 17 年卵稚仔調査結果速報（3～5月）

鹿児島県水産技術開発センター

独立行政法人 水産総合研究センターの委託事業である資源評価調査事業において下記のとおり卵稚仔調査を行ったので、結果をお知らせします。

### 1 調査日

平成 17 年 3 月 1～4 日

4 月 5～8 日

5 月 6～9 日

### 2 調査船

くろしお（260トン）

### 3 調査方法

各月に下図の 25 定点において改良型ノルパックネットにより卵・稚仔魚等を採取し、魚種組成、数量などの分布状況を調査した。

### 4 調査結果

イワシ類に関する結果の概要を下記にまとめた。

カタクチイワシに関する評価の方法は、調査海域を西薩、薩南大隅東部（鹿児島湾海域を含む）に分け、平均採取数（各海域における採取数の和 / 定点数）を過去、平年の採取数と比較した。

#### 【カタクチイワシ】

##### 西薩海域

卵の分布状況

3 月：平均採取数は平年をやや上回り、高水準だった平成 11、12、16 年に及ばないものの近年では比較的高い水準で、西薩沖に大きな分布がみられた。

4 月：平均採取数は前年、平年を大きく上回る非常に高い水準で、甕島周辺、北西薩沖に大きな分布がみられ、同海域一帯の広域的な分布が伺われた。

5 月：平均採取数は平年をやや上回る水準で、甕島周辺、北西薩沖で大きな分布がみられ、同海域一帯の広域的な分布が伺われた。

稚仔魚の分布状況

3 月：平均採取数は平年を上回り高水準だった平成 11、12 年並みで、西薩沖に大きな分布がみられた。

4 月：平均採取数は前年、平年を大きく上回る非常に高い水準で、甕島周辺、北西薩沖に大きな分布がみられ、同海域一帯の広域的な分布が伺われた。

5 月：平均採取数は平年をやや上回る水準で、甕島周辺、北西薩沖に大きな分布がみられ、同海域一帯の広域的な分布が伺われた。

## 薩南・大隅東部海域

### 卵の分布状況

3月：平均採取数は平年をやや上回る水準で，坊岬沖，開聞沖に大きな分布がみられた。

4月：平均採取数は前年，平年を大きく上回る非常に高い水準で，坊岬沖から鹿児島湾内に至る一帯で大きな分布がみられ，同海域周辺の広域的な分布が伺われた。

5月：平均採取数は平年を下回る水準にあるものの，鹿児島湾内で大きな分布がみられた。

### 稚仔魚の分布状況

3月：平均採取数は平年を上回り高い水準で，坊岬沖，種子島周辺にやや大きな分布がみられた。

4月：平均採取数は平年を上回る高い水準で，開聞沖から鹿児島湾内に至る一帯で大きな分布がみられた。

5月：平均採取数は平年を大きく下回る水準で，鹿児島湾内に大きな分布がみられた。

## 【ウルメイワシ】

卵が3月に北薩，志布志湾，鹿児島湾などで，また稚仔魚が同月に志布志湾で各々数個体みられ，産卵の形跡が伺われた

## 【マイワシ】

西薩海域，薩南大隅東部海域ともに卵，稚仔魚とも分布はみられず，まとまった産卵の形跡は認められなかった。

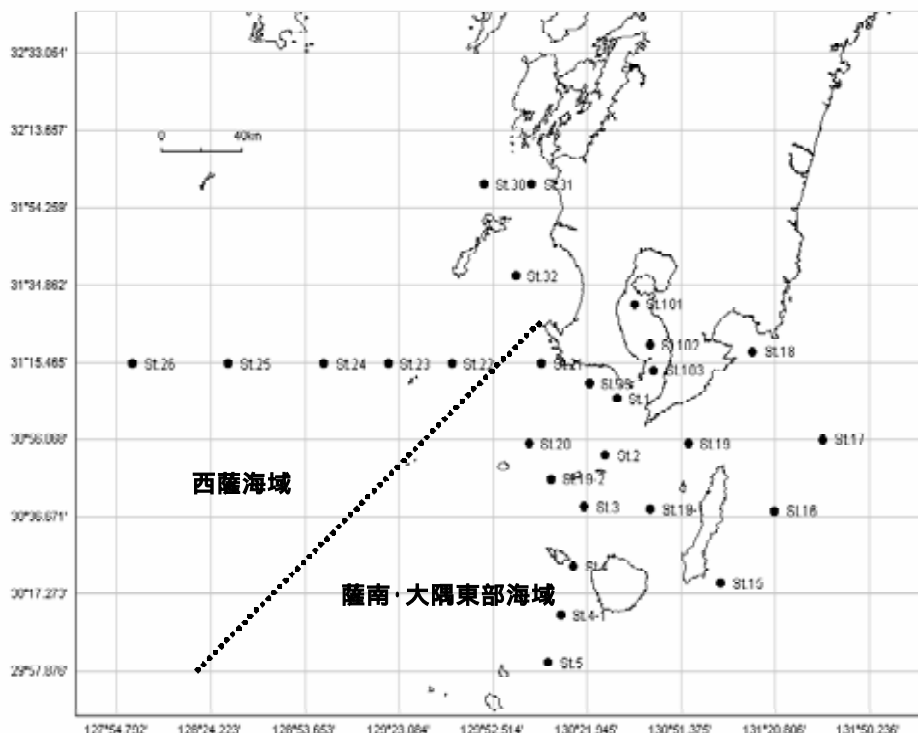


図 調査位置図